

8月の誕生花⑧

誕生花とは生まれた日にちなんで1年365日それぞれに特定の花を割り当てたものです。誕生日には、その日を象徴する誕生花を贈ってお祝いをするなどして親しまれています。



8月4日【カノコユリ】

花言葉 「格調」

カノコユリの和名で親しまれている日本特産のユリで、南西日本から台湾にかけての山地や崖地に自生しています。白地に紅色の斑点が鹿の子紋りのようについていることからこの名がつけました。

8月8日【ヒマワリ】

花言葉 「栄光」

北米原産の一年草です。太陽の動きにつれて花が回ると信じられていたことからヒマワリの名がつけました。実際には、花首の柔らかい蕾のときにだけ動きます。昼間は太陽の方向を向き、夜に向きを戻します。成長して花が咲いてからは、東を向いたままになります。



8月19日【ガーベラ】

花言葉 「希望」

キク科ガーベラ属の多年生植物です。19世紀末に、原産地の南アフリカからイギリスに持ち帰られた橙赤色の小さな菊が原種です。様々な交配が行われた結果ガーベラとして誕生しました。



8月30日【オジギソウ】

花言葉 「親切」

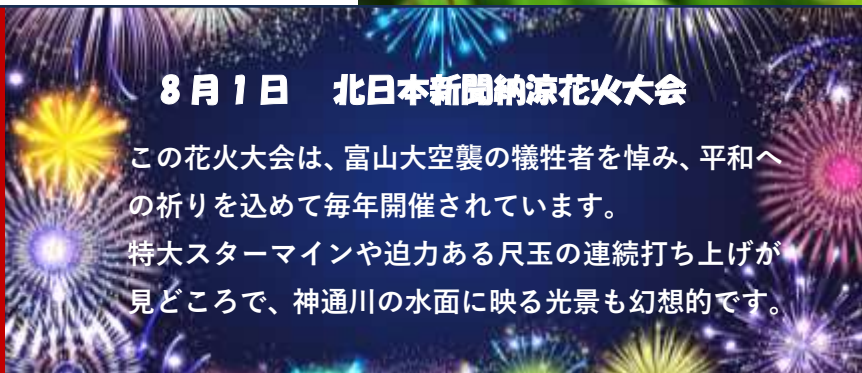
羽根のような繊細な葉に触れると葉を閉じ、葉柄も下に少し垂れてしまうことから、オジギソウと呼ばれています。別名は「ミモザ」です。日本ではアカシアの呼称である「ミモザ」ですが、実はオジギソウの学名です。姿が似ていたことから、勘違いされ定着してしまったようです。



2025
8月

8月1日 北日本新聞納涼花火大会

この花火大会は、富山大空襲の犠牲者を悼み、平和への祈りを込めて毎年開催されています。特大スターマインや迫力ある尺玉の連続打ち上げが見どころで、神通川の水面に映る光景も幻想的です。



植物家紋 ⑧ 笹・竹 ささ・たけ

竹、笹共、神代より神聖な植物とされ、現代でも神事に使われるように祥瑞的な意義で家紋とされました。また、皇族を「竹の園生」と表現されるように神事と朝廷に因む家紋といえます。



五枚笹

使用苗字：松田、石川、
岸本、金森



上杉笹

使用苗字：上杉、加賀爪、
宅間



雪持ち笹

使用苗字：柳生、内田、
石川、中島、向山

樹木の雑学 ⑧ 樹木の不思議な力。フィトンチッドってご存じですか？

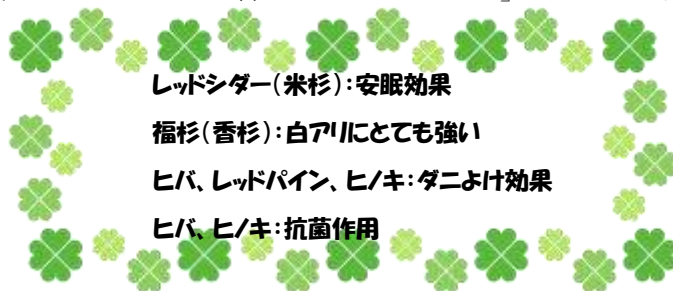
**緑豊かな場所にいると不思議とリラックス
しませんか？なぜ、自然に癒されるのか。
そのヒミツは木に含まれる「フィトンチッド」
と言われる成分なんです。
今回はそんな樹木の注目成分と効果につ
いてご紹介していきます。**



フィトンチッドは植物が自分の身を守るために木や葉から出している物質で、抗菌や殺虫の効果があります。ロシア語でフィトン（植物）チッド（殺す）という意味で、ロシアのB.P.トーキン博士が名付けました。

人にとってはいい香りに感じるものがほとんどで、リラックス効果があります。森林浴で癒しを感じることができるのは、この為です。

フィトンチッドは成分の総称で、植物ごとに成分の名前は異なります。聞き馴染みのあるものでは柑橘類に含まれる「リモネン」、ハッカやミントに含まれる「メントール」などがります。



◆本の紹介◆



【海に見える駅】

海に見える駅を追い続けた著者が全国各地から選び抜いた70駅を、フォトジェニックな写真と、旅情あふれる文章によって紹介します。

著者 村松 拓 出版社 雷鳥社

【海のものがたり】

波の下には、地上とはまったくの別世界が広がっています。さまざまな海の世界をとりあげ、押し葉にした海藻や海辺の植物でその世界を生き生きと描いています。

作 ヘレン・アポンシリ 文 リリー・マレー 出版社 株式会社科学同人

